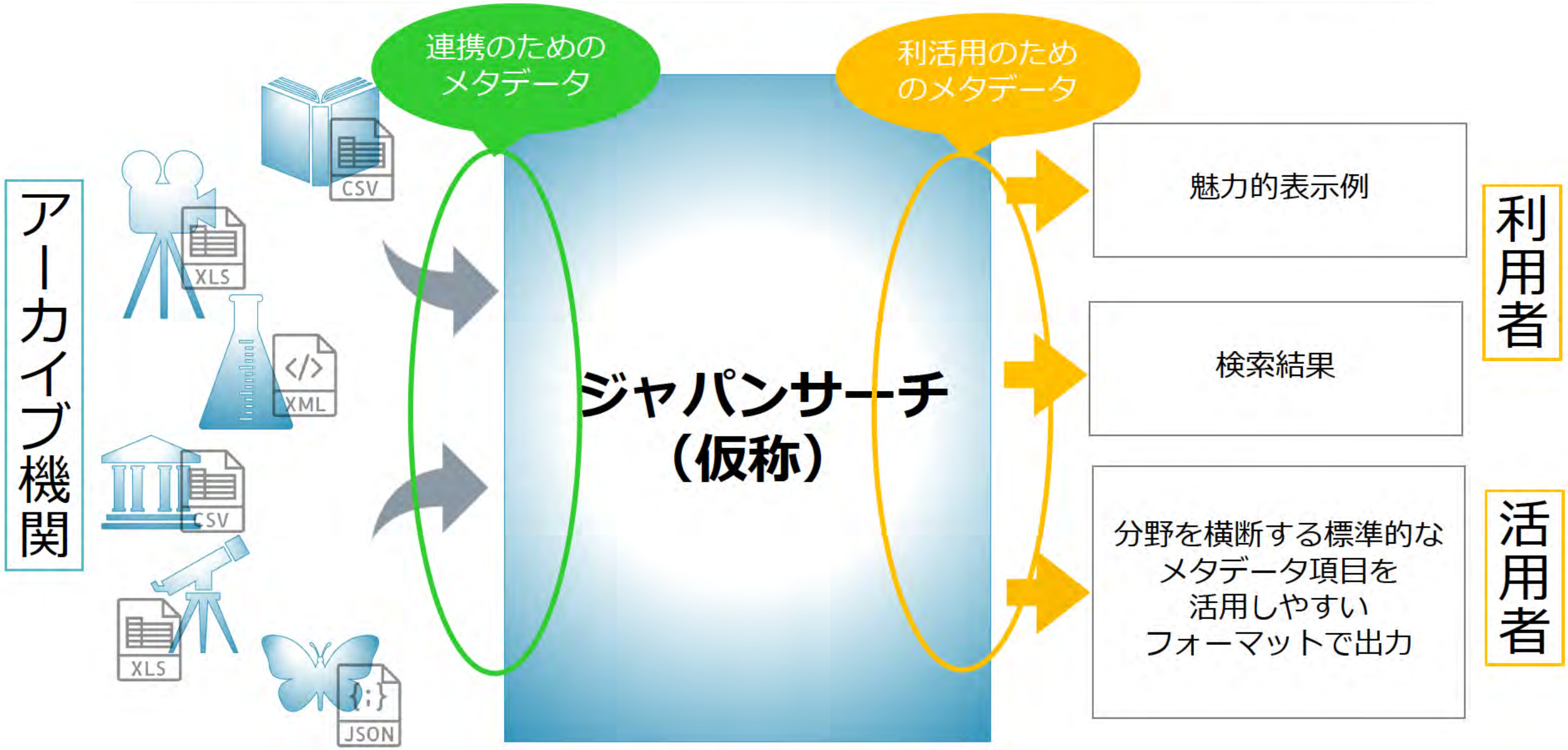
資料5－2

標準メタデータフォーマットの検討について

国立国会図書館 電子情報部

ジャパンサーチ（仮称）におけるメタデータの連携と利活用のために



標準メタデータフォーマット（項目・形式）の検討状況

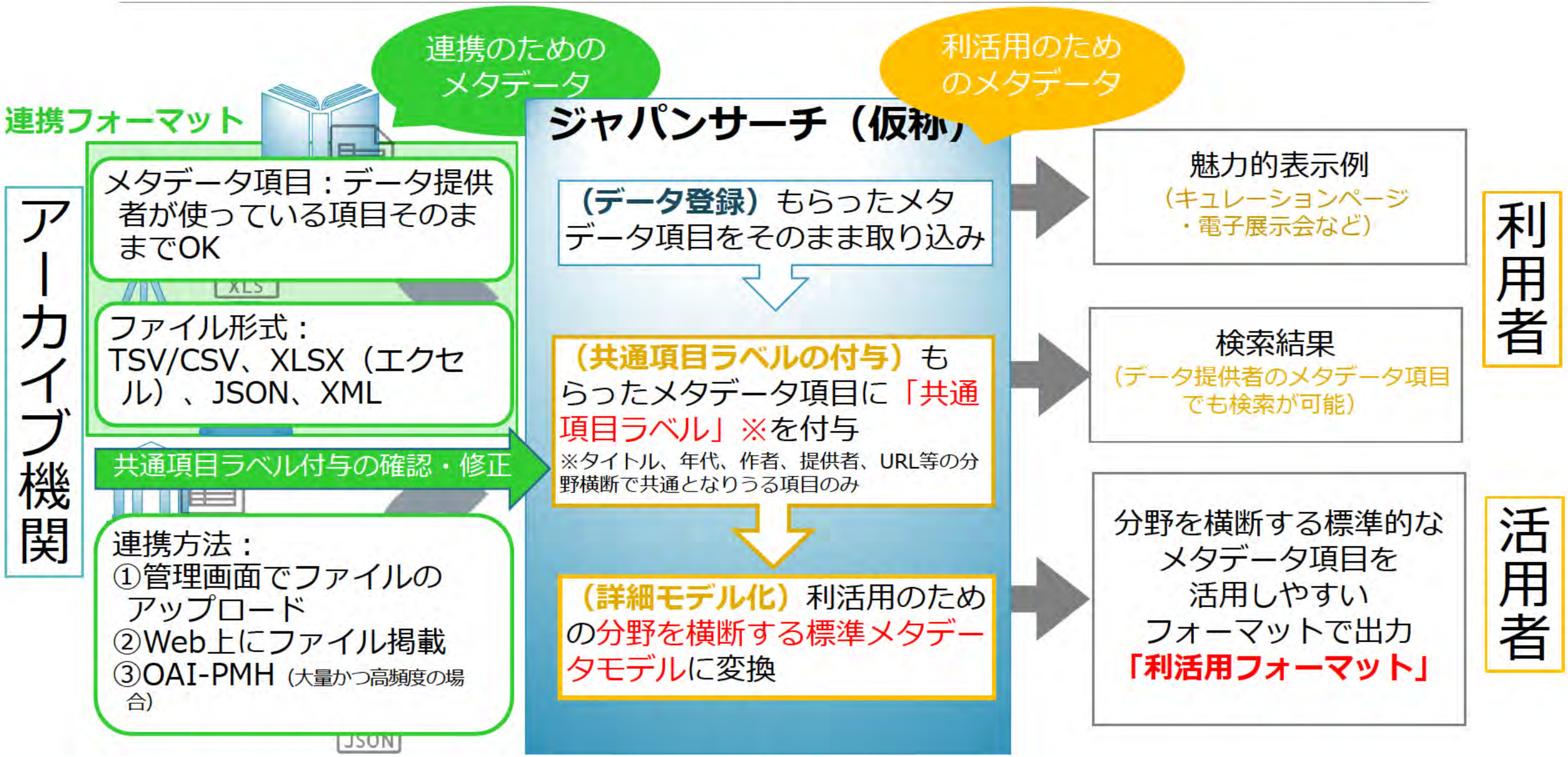
◆連携のためのメタデータフォーマット（連携フォーマット）

⇒現時点で連携を想定しているつなぎ役やアーカイブ機関のヒアリングを踏まえ検討を進めている

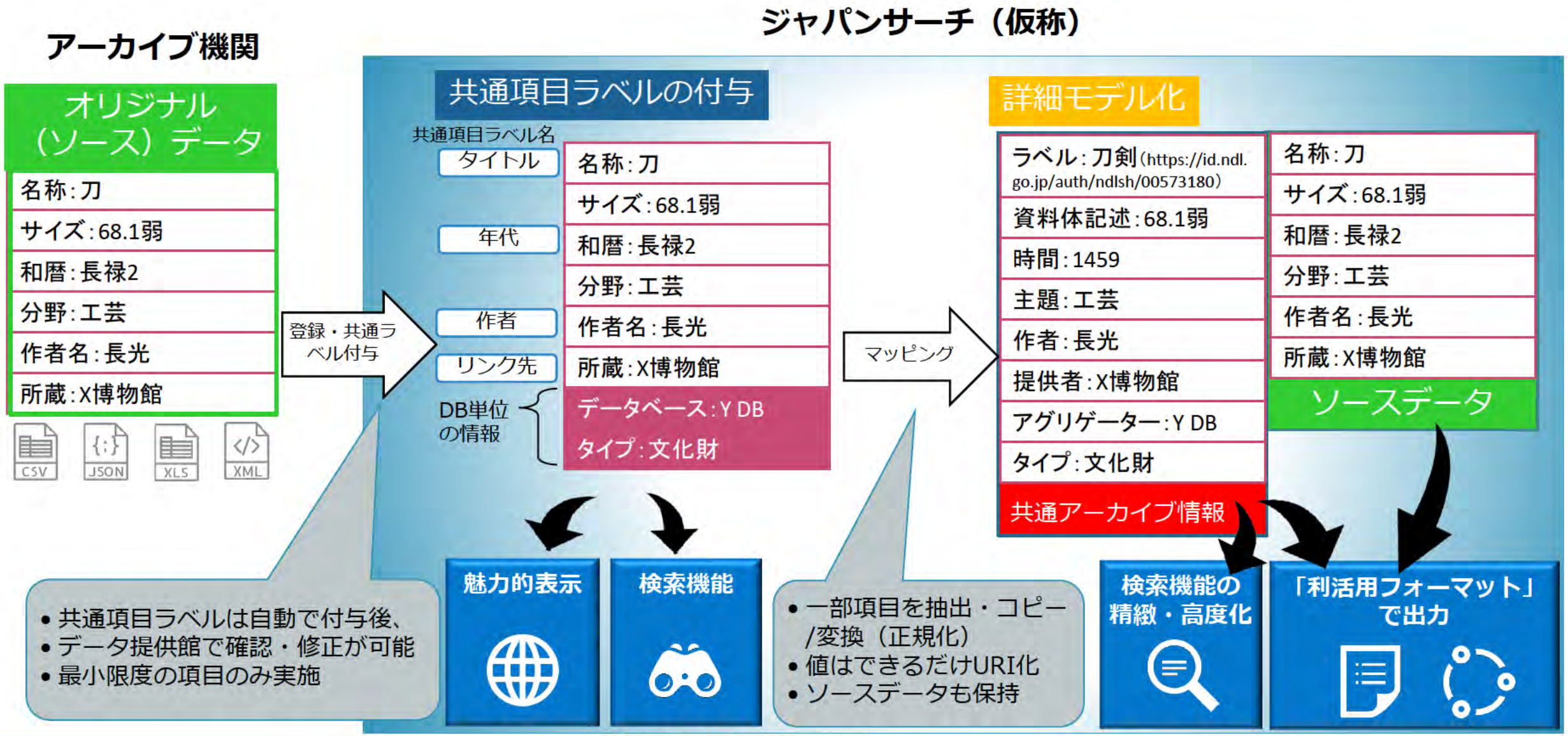
◆利活用のためのメタデータフォーマット（利活用フォーマット）

⇒NDLの標準メタデータ検討チームにおいて、国立国会図書館サーチの反省を踏まえつつ、館外の有識者のご意見を拝聴し、検討を進めている

ジャパンサーチ（仮称）における、メタデータの連携と利活用（イメージ）



ジャパンサーチ（仮称）における、データ変遷（イメージ）



今後の標準メタデータフォーマットの検討の進め方（案）

◆連携のためのメタデータフォーマット（連携フォーマット）

⇒（必要最小限を目指す前提で）引き続き、連携可能性のあるアーカイブ機関にもヒアリングを実施

◆利活用のためのメタデータフォーマット（利活用フォーマット）

⇒活用者（アーカイブ機関含む）からの意見のフィードバックが必要　⇒関係者へのヒアリング

スケジュール

- 第3回実務者検討委員会（平成30年1月22日）
  連携フォーマット・利活用フォーマットの各々の素案をお諮りする
- 2月～3月：関係機関等へのヒアリング
- 3月：「論点まとめ」には、その時点の考え方のみ簡単に提示
- 来年度第1回の実務者検討委員会で、ヒアリングの結果を踏まえた最終案を提示